

登録コード	J5480300	開講年度	2026			
授業科目	医療経済学B					担当教員 増原 宏明
英文授業名	Health Economics B					副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1 時限	対象学年 (23カリ対象科目) 経: 3年
講義室	経法第3 講義室	授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】
	経法23加(2026改)・応用経済、経法23加・応用経済 専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。 【2020年度以降初年度対象】専門領域での基礎知識として、経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして、経済理論の応用分野として、金融、公共政策、法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで、専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。					専門知識を応用・実践する力として、データに基づき医療政策を批判できるようになり、医療政策が与えるインセンティブを踏まえ、これを定性的・定量的に評価できるようになる。 専門領域での基礎知識として、また問題解決に実践する力として、医療制度を経済学的思考に基づき評価し、医療の現代的問題や、医療制度改革の狙いを間違いなく論理的に説明できるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	医療経済学は大きく、制度、経済理論、実証研究の3つから成り立ちます。まず制度で、医療には多くの規制がかかります。次に、医療制度によって規定されたインセンティブ構造と資源配分の効率性の問題で、これは経済理論によって確認しなければなりません。最後に、医療制度によって規定され、経済理論によって予想された行動の有無です。これは実際のデータによって検証しなければなりません。医療経済学Bでは、医療経済学Bでは、医療経済学Aで身につけたこと前提にして、2番目の経済理論と、3番目の実証分析に焦点を当てます。標準的な消費者理論を用いて医療需要を分析し、実証分析の結果から現実世界とどのようにリンクするかを身につけます。また医療経済学でしばしば議論される情報の非対称性と医療需要の関係性を学びます。さらに発展が著しい所得不平等と健康の関連や、行動変容の健康についても、理論的側面と実証分析の双方から理解を深めます。供給者側の分析として、医療における機能分化を理論と制度の両面から分析します。薬価の決定方法と、これが医療機関や製薬企業に及ぼすインセンティブ構造を把握します。最後に、医療職の労働市場に関して、理論的に分析します。					
(5)授業計画	第1回 医療サービス需要の経済理論：準備編 第2回 医療サービス需要の経済理論：実践編 第3回 医療サービス需要の実証分析 第4回 供給者誘発需要 第5回 供給者誘発需要の実証分析 第6回 保険の経済学（最適保険）：準備編 第7回 保険の経済学（最適保険）：実践編 第8回 所得分布と健康 第9回 生活習慣と行動変容、小テスト 第10回 医療における計画と規制の経済分析 第11回 医療の機能分化の経済分析 第12回 薬価と医薬品流通 第13回 医療技術の進歩 第14回 医療職の労働市場：臨床研修とマッチング 第15回 医療職の労働市場：医師不足問題、授業アンケート 期末試験					
(6)成績評価の方法	【授業の達成目標】の1番目と2番目の達成度を測るために、基礎的な知識の定着を確認するための論述問題式の小テストを1回行う（40%。うち30%は2番目で、10%は1番目の授業の達成目標に対応）。続いて、【授業の達成目標】の1番目の達成度を測るために、期末試験（60%）を行う。					
(7)成績評価の基準	小テストと同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、難しい応用問題が解ければ「卓越している」					
(8)事前事後学習の内容	予習・復習用の授業レジュメを、eALPSにPDFファイルとしてアップする。各自で印刷するか、ノートパソコンを持参すること。レジュメは穴埋め式となっているので、予習として1時間かけて穴埋め以外の項目について目を通すこと。講義後には穴埋めされたレジュメを復習し、授業で説明した概念や経済分析手法を自らの手で再度まとめること（2時間程度）。					
(9)履修上の注意	医療経済学Bでは、医療経済学Aを前提にした授業を行います。医療経済学Bの履修を考えている人は、医療経済学Aを必ず先に履修してください。					
(10)質問、相談への対応	個別の質問は、オフィスアワーに研究室に来てください。オフィスアワーが無理な場合には、事前にメール（masuhara@shinshu-u.ac.jp）でアポイントメントを取り、来室してください。					
【教科書】	特に指定しない					
【参考書】	細谷圭・増原宏明・林行成、医療経済学15講、978-4883842841、新世社、2018年、2,592円。 橋本英樹・泉田信行編、医療経済学講義 補訂版、978-4130421423、東京大学出版会、2016年、3456円。					

【参考書】	井伊雅子・五十嵐中・中村良太，新医療経済学， 978-4535559233，日本評論社，2019年，2,530円． 河口洋行，医療の経済学 第4版，978-4535559967，日本評論社，2020年，2750円．
-------	--